

令和2年 萩市議会 3月定例会

一般質問通告者

質問順序	議席番号	通 告 者	摘 要
1	3	瀧 口 治 昭	3月3日午前
2	10	美 原 喜 大	
3	13	西 中 忍	午後
4	7	石 飛 孝 道	
5	1	浅 井 朗 太	
6	18	宮 内 欣 二	3月19日午前
7	9	松 浦 俊 生	
8	6	五十嵐 仁 美	午後
9	5	村 谷 幸 治	
10	4	松 浦 誠	3月23日午前
11	12	関 伸 久	
12	2	小 林 富	午後
13	8	佐々木 公 恵	

質問順位	1	質問者	瀧口治昭議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 市政の事業計画と方針の決定について	<p>1. 議会は二元代表制の一翼を担い、市執行部との緊張感を持ちながら議会活動を行っていることは周知の事実です。市執行部より提案された議案について先入観を持つことなく、市民にとってより良い選択をして行くことが何よりも優先されます。そうした中で最近特に感じていることは議会全員協議会において市民にとっても重要案件と言える事案について報告が執行部よりなされ、大した期間も無いまま、直後の定例議会においてその成否を問うといった事案が多いのではないかと思ひ質問いたします。議案として提案されるからには議会の承認を得ることを目的としているのですが、事前の情報なり、説明が必要ではないかと感じることも多々あります。</p> <p>事案が不確定であったり、流動的であったりとか、交渉の相手先への配慮が必要な事案とかいろいろ事情がある場合もあるのでありますが、いずれにしても議会に対しての情報提供が足りないのではないかと考えます。また、議案に至る事案についての検討が十分に成されているのか、その経過が判からないために不信を抱かざるを得ない場合もあるかと考えます。議会の理解を得る努力をするべきではないでしょうか。</p> <p>2. 新年度予算における各地区コミュニティ協議会に対する予算編成の根拠についてお聞きします。</p>		
2. 萩市社会福祉協議会と地区社会福祉協議会のあり方について	<p>1. 平成17年の市町村合併の時に、社会福祉協議会も合併し萩市社会福祉協議会が出来ました。旧町村部に対しては支部としてそれぞれ職員を配置して萩市社協として1つの組織であったと記憶しています。しかし、平成29年より旧町村地域においては法的な位置づけが無く、地域住民の自由な発想で地域福祉を推進する任意団体（自主組織）としての地区社協が小学校単位で地域住民により設立されました。萩市社協と地区社協は別組織であるとの事ですが、このことにより、萩市社会福祉協議会の職員は常駐ではな</p>		

質問項目	質問事項及び要旨
	<p>くなり、本所と従来の地域事務所との掛け持ちのような体制になってしまいました。萩市社協、地区社協それぞれ社会福祉事業に努力をしておられ、そのことに物申すつもりはありませんが、地域の住民からは萩市社協がどんどん遠くなって行くのではないかという懸念の声を聞きます。市直接の組織ではありませんが、萩市の福祉行政を担う組織に対しての今後の対応をお聞きします。</p>

質問順位	2	質問者	美原喜大議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 旧明倫小学校体育館の改修について	<p>1. 過去からの経緯と現時点での必要性について</p> <p>2. 萩の歴史と文化を破滅とする壮絶な、歴史的な一手となり、語り継がれるものとなる。</p> <p>3. 市民に聞く必要性あり。(選挙公約として選挙後実施すべき、復元事業の取組が長い歴史から勘案すると、改修は今急いで行わなければならないことでは無い。)</p>		
2. 官製談合について	<p>1. 背景(単独室が助長)</p> <p>2. 原因</p> <p>3. 上司への報告と対応</p> <p>4. 再発防止(予定価格の公表、単独室の取り止め)</p> <p>5. 処分と責任をどう示すか。(本人と市長)</p>		
3. 子ども子育て支援計画(高校支援)について	<p>1. これまでの取組と成果は。</p> <p>2. 守備範囲外の行為に対し、県等関係機関との協議は出来ているか。</p> <p>3. 今後の支援の方針は。(具体的に)</p> <p>4. そのための教育長と聞くが、義務教育と高校支援と何処に重みを置いているか。</p>		
4. ゆとりパークたまがわのトイレの改修について	<p>1. トイレの管理不足(清掃不足)に不満の声が根強い。管理費が出ているが、どのような対応(指導)をしているのか。</p> <p>2. トイレの改修要望も出ているが、その対応状況を聞く。</p> <p>3. 国交省へ全面改修を要望しよう。(イメージアップへ)</p>		
5. 病院統合について	<p>1. 何故急ぐのか。急ぐと失敗する可能性が高くなる。</p> <p>2. 医師会との調整は進めているか。それが先では。</p> <p>3. 萩へ中核的病院が必要な理由は何か。人口4万(更に減)のところへ医師が来るのか。完結できる中核的病院が出来るのか。</p>		

質問項目	質問事項及び要旨
	<p>4. 萩で完結できる医療システムの構築とか都志見医院の単年度黒字決算とかの発言は、言葉巧みの誘導としか思えない。発言の真意は何か。</p> <p>5. 運営には経営が大きなウエイトを占める。本当に大丈夫か。親方、日の丸と世間は見ているが。</p> <p>6. 明倫学舎の検討委員会の時と今回市長の立場が違う理由は何か。</p>

質問順位	3	質問者	西 中 忍 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 路線バスの廃止に伴う代替移動手段決定の経緯は	<p>1. 12月定例会の一般質問で路線バスの廃止が予定されている地域の代替移動手段を決定するにあたっては、出来るだけ利用者の意見をお聞きした上で、その要望に沿った利用しやすい運行にすることが必要だという主張をしました。</p> <p>また、全員協議会でも執行部からは、代替案について住民説明会で出た要望も反映しているとの説明もありました。</p> <p>この様な中、路線バスが廃止される須佐・田万川・むつみ地域の移動手段を確保する代替交通に係る公募型プロポーザルが運行ルートや時間、事業規模等を示した上で行われました。</p> <p>そこで、今回示されている運行経路や時間の決定について、どのような手順を踏んで決定されたのかお尋ねします。</p> <p>また、この公募型プロポーザルの仕様書の中には、地域住民等の移動手段の確保を図るため、受託者は、別紙「運行計画書」の運行便数と運行時間以外の運行について方策を立案し、市へ任意の様式で提出することができるとなっていますが、なぜこのような項目があるのかあわせてお尋ねします。</p>		
2. 少子化・人口減少対策に、地域経済の活性化が有効ではないか	<p>1. 私は、少子化・人口減少が萩市の抱える最大の課題で、この課題は時間が経つほど解決が難しくなると考えていることから、これまでの一般質問などで子育て支援や子育て環境の充実を訴えてきました。</p> <p>しかし、この問題の根本的な部分には、若年層の市外流出などで子どもを産み育ててくれる世代の減少や経済的な問題もあると考えていることから、市内経済を活性化させることで雇用の確保や所得水準を向上させなければいけないと思っています。</p> <p>市でも基本ビジョンを策定した上で、地域経済の活性化に着手していますし、先日開所した「はぎビズ」を中心</p>		

質問項目	質問事項及び要旨
	<p>に、事業者は勿論のこと、商工会議所や商工会、銀行などと一緒になって知恵を絞る土壌をつくるなど、少しでも市内経済が向上するように最大限の努力をしようとしています。</p> <p>一方、公共工事や物品購入などを通じて市内経済に大きな影響を及ぼす市として、入札方法や落札額等について市内経済に好影響を与える工夫をしなければいけないとも思っています。</p> <p>そこで、私が少子化・人口減少の大きな要因の1つだと考えている、市内経済の活性化について、今後、市としてどのように取り組んで行こうと考えているかお尋ねします。</p> <p>あわせて、市が発注する工事や物品購入などに関する入札や契約方法と落札額等について、どのような考えを持っているかお尋ねします。</p>
<p>3. 引きこもり対応という課題に本気で取り組んで行く必要があるのでは</p>	<p>1. 国では、新年度予算で厚生労働省が対策費用を概算要求するなど、引きこもりという課題に対し取り組みを本格化させようとしていると聞いていますし、市でも本年度から居場所をつくりその対策を行おうとしています。</p> <p>この様な中、私は昨年6月議会でこの件を取り上げ、市の体制や意気込みなどについてお尋ねしています。</p> <p>そこで、前回の質問で実態調査を行うとともに人材育成を行うと答弁されていることから、実態調査や人材育成がどのような状況になっているか現状についてお尋ねするとともに、市が設置した居場所の利用状況などについてもあわせてお聞きします。</p> <p>また、引きこもってしまうきっかけには、小・中学校での不登校があるといわれていることから、市内小・中学校の不登校の現状とその対応についてお尋ねします。</p> <p>さらに、学校に行くことができない子どもたちの受け皿となっている菽輝きスクールの利用状況と、学校復帰の状況についてあわせてお尋ねします。</p>

質問順位	4	質問者	石 飛 孝 道 議 員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 魅力ある漁業を見出すために	<p>1. 日本の食文化を支えている水産業。古くから歴史を誇っており、世界に誇れる技術や経験を蓄積させてきたことで、日本の社会的な発展を大きく担ってきたと言っても過言ではありません。</p> <p>その状況の中でも、日本の漁業は成長段階から、衰退の一途をたどるようになってきました。</p> <p>まずは、漁業に従事している人口に着目する必要があります。漁業に携わる人がいなければ、その分野は成り立つことができず、長きにわたって築き上げられた技術と経験を次世代に継承することが不可能になってしまいます。それと同時に、現代人の食生活を根本的に支えるものを失うことを意味します。</p> <p>日本における漁業の人口はピーク時には、200万人近くいたと言われていましたが、近年は20万人を割り込んでいて、平成29年（2017年）には15万3490人と減少の一途をたどっています。</p> <p>また、平均年齢は60歳を超えているので、限界集落化が加速する悪循環も問題視されるようになっていきます。漁業における高齢化問題が進行している限り、日本の漁業はこれからも危機にさらされることとなります。</p> <p>日本には、水産物を加工する技術と世界トップクラスの国内市場があります。その市場を活用することで、漁業の高齢化を解消する糸口を掴むことが可能になります。</p> <p>日本は、海外では食べない水産物を加工するノウハウを十分に持っており、加工による付加価値を提供できる強みを持っています。その強みを、市場において最大限に応用させることで、市場の活性化にも直結します。</p> <p>水産資源を丁寧に管理することに成功すれば、水産業の人口が減少していても、効率的に水産物を加工・販売することが可能となります。</p> <p>漁業を復活させるかは、国内市場の効率化やノウハウの発信を継続することが大切です。</p>		

質問項目	質問事項及び要旨
	<p>そこで、次の3項目について、萩市の取り組みをお尋ね致します。</p> <p>(1) 漁業就業者をめぐる動向、新規漁業就業者の確保について</p> <p>(2) 水産資源の現状と課題について</p> <p>(3) 漁業の6次産業化の推進について</p>

質問順位	5	質問者	浅井 朗 太 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. エシカルな消費を促進する取り組みについて	<p>1. エシカル消費とは、「地域の活性化、雇用なども含む、人、社会及び環境に配慮した思いやりのある消費行動」と示すことができます。消費者庁は、2015年5月から2年かけて「『倫理的消費』調査研究会」を開催し、エシカル消費の枠組みづくりを行いました。以来、各自治体でエシカル消費を推奨する取り組みが行われています。SDGs 17項目の12番目の「つくる責任、つかう責任」にも含まれるこれからの時代に必要とされる消費の概念です。消費増税による個人消費へ影響が考えられうる今般、地産地消の概念もふくむエシカルな消費は、地域環境という観点のみならず地域経済の循環という観点からも広く普及されることを求められているのではないのでしょうか。</p> <p>施政方針を発する今定例会におきまして、今後のまちの目指すべき在り方の一つとして、エシカル消費を促進する取り組みについてなされないか、お伺いします。</p>		
2. イージス・アショア配備計画適地調査等検証有識者会議の今後の運営の手法について	<p>1. 萩市独自の調査として有識者会議を設置しました。1月27日に開かれた第1回目の会議では、冒頭の自己紹介と座長挨拶以外非公開となりました。地元の首長としての判断の材料とするための会議ではあります。しかしながら、地元市民の理解を得るためには、最大限開かれた場での議論がなされることが望ましいと考えられます。有識者会議の今後の開催回数や期限は未定とのことです。国益・安心安全・まちづくりへの阻害要因となるかの3点を総合的に判断するための一つの材料として設置された有識者会議について、今後の運営の手法についてお尋ねします。</p>		

質問順位	6	質問者	宮内欣二議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 公共事業における公平・公正性の確保について	<ol style="list-style-type: none"> 1. 情報政策課長逮捕事件の本人への行政処分をどう考えているか。また、市長はどう責任をとるか。 2. 贈収賄の事実はなかったのか。 3. 政治的背景はなかったか。 4. 随意契約の見直しが必要ではないか。 5. 関係業者処分は適正か。 6. 防止策は万全か。 7. 公益通報者保護と受付窓口の変更の有効性をどう検討したか。 8. 萩市内に公共事業をめぐる利権体質があるのではないか。 		
2. 巨大ミサイル基地 イージス・アショアのむつみ演習場配備について	<ol style="list-style-type: none"> 1. 萩市独自検証「有識者会議」の有識者の選定方法、会議の手法、会議報告のとりまとめ方法について、市長はどう考えているか。 2. 「イージス・アショアの配備を考える山口の科学者」からの問題点の指摘や要望に対し、どのような対応を考えているか。 3. 独自検証項目の「電磁波・水・地盤」以外は、誰が検証するか。 4. 萩市にとって重要なまちづくりは、どうなると考えるか。 5. 市長が考える「国益にかなう」の基準は何か。 6. 「経済効果がある」ということに対してどう判断するか。利権体質が深まるのではないかなど、どのような検証を行うか。 		
3. 萩市学校給食のあり方について	<ol style="list-style-type: none"> 1. 学校給食に地元産食材の使用を推進することと併せ、アレルギー物質不使用給食、無添加・無農薬食材の使用推進の考えがあるか。 2. 学校給食の無償化を考えないか。もしくは食材費への補助を行って負担軽減を行う時ではないか。 		

質問順位	7	質問者	松浦俊生議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 新型コロナウイルス(COVID19)について	1. 萩市の新型コロナウイルス対策について 2. 市民への予防対策について 3. 外国人の来萩や市民の海外渡航への対応について		
2. 昨年8月末の大雨警戒に伴う萩地域(山田・椿・椿東)の避難状況等について	1. 避難勧告(警戒レベル4)発令の周知方法について 2. 萩総合福祉センターへの各地域の避難者数について 3. 徒歩及び車両等による避難方法等について		
3. 県有施設の萩ウェルネスパーク等の移管について	1. 萩ウェルネスパークの移管について 2. 須佐湾ビジターセンターの移管について 3. 今後の県との対応について		

質問順位	8	質問者	五十嵐 仁 美 議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 萩やすらぎ苑の管理・運営の見直しを	<p>1. 適切な運用が行われているか、どのように見直しているか。また、労働法令の遵守ができていないか確認しているか。</p> <p>2. 萩やすらぎ苑の職員からの現状報告をどう受けとめ、どのように対応しているか。</p> <p>3. 理事会に参加し、どのような指導をしたのか。</p> <p>4. 酒の販売許可がとれているか確認したのか。また、アンケートは、どのように活用しているのか。</p> <p>5. 代表理事への指導はできないのか。</p>		
2. 教員の変形労働時間制への取り組みについて	<p>1. この制度をどう受けとめているのか。</p> <p>2. タイムカードなどの活用で、教員の正確な勤務時間が把握できているか。</p> <p>3. 超過勤務にならないように、管理職などから圧力がかかっていないか。</p> <p>4. 教員の年休は消化されているか。</p> <p>5. 夏休み中の学校の業務や行政研修は、教員の負担になっていないか。</p> <p>6. 勤務時間外の子どもの対応などは超過勤務としてカウントされているか。</p> <p>7. この制度をさえそう教員はいそうか。</p>		
3. イージス・アショア配備撤回を求めて	<p>1. 有識者会議の議事録の公開に時間がかかっているのはなぜか。</p> <p>2. 有識者会議を音声だけでも公開することができないか。</p> <p>3. 国益にかなうか、まちづくりに問題がないかも、専門家による検証が必要ではないか。</p>		

質問順位	9	質問者	村谷幸治議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 伝建地区内における交通環境の改善について	1. 堀内地区内の道路側溝開渠箇所における蓋掛けについて 2. 堀内地区内の車両走行速度制限について		
2. 高齢者のごみ出しについて	1. 高齢者のごみ出しにおける課題について		

質問順位	10	質問者	松浦 誠 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 地域を守る建設土木工事の担い手を育てる公共工事の平準化について	1. 債務負担行為の積極的な活用について 2. 公共工事への「ゼロ市債」の活用について 3. 公共工事の柔軟な工期の設定について 4. 公共工事の速やかな繰越手続きについて		
2. 地域づくり活動「域学連携」について	1. 域学連携による取り組みと効果について		

質問順位	1 1	質問者	関 伸 久 議 員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 市民病院と都志見病院の経営統合の問題点について市長の所見を問う	<p>1. 市長は年初からの会合等で、ここ萩市で医療完結のできる中核病院の形成を目指すと挨拶をされている。果たして、それは可能なのか。市民に大きな誤解を生んでいないか。医師会の調べでは、中核病院に必要とされる病床数を234床としており、これはいみじくも現在の都志見病院単体の病床数である。</p> <p>これまで市長は統合という果実を得て、スケールメリットを生かし、医師をはじめとした医療従事者を確保すると豪語される一方で、病床数の削減に踏み込んだ説明を先の全員協議会でされている。</p> <p>説明が矛盾していないか。</p> <p>市民は中核病院の形成により宇部市の宇部医大（山大医学部病院）に通院しなくても、すべての医療行為が萩市で行われると信じている人がいるが、果たしてそうなのか。一部どころか高度急性期の症例は引き続き、宇部医大に依存することになるのではないか。</p> <p>そして、何よりも病床数の削減を見据えて医師の確保はできるのか。病院に医師がいなければ、医療行為を行うことはできない。医師の確保、特に若手医師の確保は大きな課題である。現在、統合の対象となっている両病院は医師の高齢化が進んでいると聞く。両病院の医師の平均年齢はいくつなのか。医師確保の見通しについても訊ねる。</p>		
2. 起業化助成金制度を復活させ、少子化対策に全力を	<p>1. かつて制度化されていた起業化助成金を復活させるべきではないか。</p> <p>子どもの医療費を高校生まで無料にするなど子育て支援には力を入れてはいるものの、目標としている年間出生数300人には程遠い。昨年度は約190人、暦年では約170人と年々減少している。</p> <p>高校生までの医療費無料は、すでにここで職を得て生活をしている子育て世帯むけの行政サービスであり、真の少子化対策としては若い人をいかに定住させるか、ここ萩市</p>		

質問項目	質問事項及び要旨
	<p>でいかに仕事をさせるかに尽きる。この視点での政策の充実が欲しいところだ。</p> <p>これまでの起業化助成金制度では確実に年10人程度の起業を後押しする効果があった。原点回帰をし、少子化対策に全力を傾けるべきではないか。</p>
<p>3. 山陰自動車道の大井・萩区間における阿武川の二重橋について問う</p>	<p>1. この4月から山口県の山陰側では初となる国道事務所「山陰西部国道事務所」が設置される見通しである。これにより山陰自動車道の整備が更に前進しようとしている。この事務所の担当するエリアは益田市須子から下関市小月までの約115キロであり、木与防災の約5キロと俵山・豊田道路の約14キロについてはすでに事業採択を受けている。</p> <p>今後は、大井・萩間、須子・田万川間、三隅・長門間の3区間において事業採択にむけ本格的な手続きが進む予定である。</p> <p>そこで今回は大井・萩間における阿武川の二重橋についてお訊ねする。かつて、萩商工会議所の前会頭はこの二重橋の実現について期待を膨らませ、事ある機会に市民にご説明されていた。</p> <p>この阿武川の架橋については、高規格道路のみならず、その下に一般道を設置することにより、交通の利便性を高めようとの主旨と理解しており、その実現には個人的にも大いに賛成である。</p> <p>については、萩市はこの二重橋について、どのようなスタンスで臨むのか、その所見を伺う。</p>

質問順位	12	質問者	小林 富 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 国による高等教育の修学支援新制度（大学無償化）開始後の萩市における教育支援について	<p>1. 令和2年4月より国において高等教育の修学支援新制度（授業料免除と給付型奨学金）が開始されることに伴い、萩市の既存の給付型奨学金などの支援施策や見直しについてお聞きします。</p> <p>報道等では大学無償化として認知され、内容としては大学・短期大学・高等専門学校・専門学校の初年度における授業料や入学金などの学費を対象に支援する「授業料等の減免制度」と原則返済不要の「給付型奨学金支援制度」に大きく分かれています。</p> <p>授業料等の減免は、所得と家族構成により決定し、支給額は国公立・私立、自宅もしくは自宅外から通う場合にも異なりますが、最大では、国公立で入学金として約28万円・授業料として54万円、私立では入学金として約26万円・授業料として約70万円減免されます。</p> <p>萩市における教育支援では寄付による基金などを原資に給付型奨学金を既に実施しています。国による高等教育の修学支援新制度を受けて萩市の実施している給付型奨学金の支援はどうか、また、教育支援の観点から既存の制度見直しを含めて質問します。</p> <p>(1) 国による高等教育の修学支援新制度と萩市による給付型奨学金支援制度の重複による影響や萩市の給付型奨学金の活用はどうなりますか。また、制度の見直しは検討していますか。</p> <p>(2) 高等教育（大学・短期大学・高等専門学校・専門学校）への支援制度が拡充される一方、社会人の学び直しには現在、支援制度がありません。Society 5.0など社会変化の中で新技術活用や専門性が求められると感じています。</p> <p>これまで支援がなかった萩市で働く社会人の学び直しに焦点をあてるべきだと思いますが、萩市の考えをお聞きします。</p>		

質問項目	質問事項及び要旨
	<p>(3) 昨年度より実施されているグローバル50について、国による高等教育の修学支援新制度が新設されたことから、見直しをすべきだと思いますが、萩市の考えをお聞きます。</p>
<p>2. 空き家への空き巣被害の問題について</p>	<p>1. 萩市には総務省による住宅・土地統計調査では約4,600戸、建築課による確認では約2,100戸の空き家が存在するといわれており、転居などによる一時的な空き家を含むとその数はさらに多くなると思われます。</p> <p>空き家については、老朽化による建物倒壊などの安全上の問題や公衆衛生、景観、また、既存空き家の利活用など課題が多くありますが、今般発生している空き家への空き巣被害について質問します。</p> <p>(1) 空き家への空き巣被害は江向地区2件・平安古地区1件で発生、現在も調査が行われていますが、空き家の所有者や一時的に空き家となる場合に所有者や管理者へ注意喚起を促すなど対策状況についてお聞きます。</p> <p>(2) 空き家の所有者などへ空き家バンク案内が発送されていますが、空き家バンクへの登録では空き家の管理や保全までは対応出来ません。</p> <p>今回のような被害報告を受け、空き家の管理による防犯面や資産価値を落とさないという面などの役割が大きく街全体の活性化にも寄与すると思いますが、萩市として適切な空き家管理の周知や取り組みをさらに促進しませんか。</p>
<p>3. 旧明倫小学校屋内運動場の利活用を見直し、最適な子育て支援策を考えるべきではないか</p>	<p>1. 本定例会で上程された<新規>親子の遊び場整備事業(7,837万1千円)では、旧明倫小学校屋内運動場を「親子の遊び場」として整備する予算が上程されました。</p> <p>事業内容は、子どもの遊び場・子育て世代の活動の場としてフリースペースの整備、ボルダリングウォールの設置などです。子どもや子育て世帯への支援の重要性は私自身も感じていますが、事業予算や対象施設(旧明倫小学校屋内運動場)、子ども・子育て世帯の需要やその是非が反映</p>

質問項目	質問事項及び要旨
	<p>されたものとなっているのか、今後の街づくりにも大きく関わることから質問します。</p> <p>(1) 事業費（7, 837万1千円）の適正について 旧明倫小学校の屋内運動場である体育館は1969年に建築された後、小学校が新校舎へ移転に伴い閉鎖されていましたが、その後、大河ドラマ館や世界遺産ビジターセンターとして再活用されました。 既存施設の再活用としては事業費が高く、新たに新設する方が中長期的に合理的ではないでしょうか。</p> <p>(2) 対象施設の安全・安心について 旧明倫小学校屋内運動場は建築から既に50年以上が経過しており、以前の定例会で廃止が検討された萩セミナーハウスと同時期の建物です。 また、空調設備も天井が高いことから快適な室内環境となるのか、長期休暇のある夏季・冬季に利用される施設となるのかなど安心・安全面からの不安を感じますがいかがでしょうか。</p> <p>(3) 子ども・子育て世帯の需要調査、利活用の是非について 旧明倫小学校屋内運動場の在り方については、その是非や活用内容についてアンケートなど実施されていません。令和元年9月4日に開催された全員協議会においては、在り方の検討においてニーズの把握・関係課等との調整とあります。 子ども・子育ての需要や利活用の是非について改めて慎重に精査するべきではありませんか。</p>

質問順位	13	質問者	佐々木 公 恵 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 新型コロナウイルス感染症対策について	1. 「新型コロナウイルス感染症対策本部」の役割について 2. 相談・受診時の流れは。 3. 現時点での相談・受診の状況は。 4. 感染予防について 5. 市民への周知について		
2. 葉酸（ビタミンB群の一種）摂取で健康づくりを	1. 葉酸摂取の取り組みの現状と課題について 2. 葉酸摂取の周知啓発について		